

硝酸・亜硝酸試験紙 (MN90611)

取扱説明書

国内総発売元

株式会社 アイシス

大阪市東淀川区西淡路1-1-36

TEL:06-6325-1406 FAX:06-6328-8995

ご使用前に必ず熟読いただき正しく使用してください。不注意/誤った使用方法・保管方法による不具合、カタログおよび下記《取扱上の注意》を含めた各種注意事項を順守されていない場合は責任および保証の一切を負いません。

《取扱上の注意》

1. 試験紙に触れる際は必ず研究用手袋を装着してください。指示薬により皮膚に炎症を起こす恐れがあります。
2. 測定後の試験紙の変色は、時間経過により変化する場合があります。

《使用法：硝酸イオン (NO₃⁻)》

1. 必要な長さの試験紙をディスペンサーから取り出します。
2. pH6~7 に調整したサンプル溶液に試験紙を一瞬だけ浸した後、取り出します。
3. 溶液に浸した試験紙を極一瞬だけ濃硫酸(96%)に浸した後、白紙の上に置いたスライドグラスに広げます。
4. 硝酸イオン (NO₃⁻)のみ存在している場合は白色試験紙が赤色に変色します。硝酸イオンと共に亜硝酸イオンも存在している場合は、橙色に変色します。なお亜硝酸イオンはスルファミン酸を加えることで除去できます。
※検出限界：10mg/L の NO₃⁻

《使用法：亜硝酸イオン (NO₂⁻)》

1. 必要な長さの試験紙をディスペンサーから取り出します。
2. pH6~7 に調整したサンプル溶液に試験紙を一瞬だけ浸した後、取り出します。
3. 溶液に浸した試験紙を極一瞬だけ 5N 塩酸(17%)に浸した後、白紙の上に置いたスライドグラスに広げます。
4. 亜硝酸イオン (NO₂⁻)の存在で白色試験紙は黄色に変色します。但し亜硝酸イオンが少量の場合、変色に3~4分程かかります。
※検出限界：5mg/L の NO₂⁻

《補足》

硝酸イオン、亜硝酸イオン共に検出限界に近い濃度で測定する場合は適宜蒸留水で希釈してください。また一度測定に使用した濃硫酸や塩酸は複数回使用しないでください。

《妨害》

塩素酸イオン (ClO₃⁻)、臭素酸イオン (BrO₃⁻)、ヨウ素酸イオン (IO₃⁻)、次亜塩素酸イオン (ClO⁻)、バナジウム酸イオン、ヨウ化物は妨害します。

《後始末》

使用後の試験紙や廃液は絶対に下水へ流さず、各自治体の条例に従い廃棄してください。

《保管》

日光および高温多湿に晒さず乾燥した+30℃以下の冷暗場所に保管し、開封後は使用期限に関わらず速やかに使用してください。